



海苔巻き

材料 極太毛糸(白) 10g、並太毛糸(黒) 10g、並太毛糸(明るい茶、黄色、黄緑、緑、赤) 各少々。
 スポンジ(または手芸綿) 適量
 用具 かぎ針8/0号・7/0号。アップリケパンチャー。

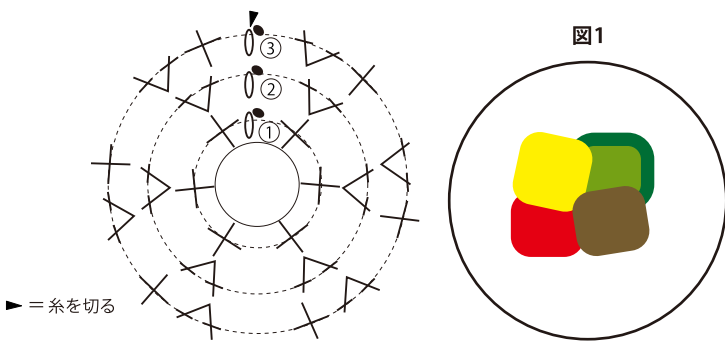
1 極太毛糸(白)を使用し、海苔巻きのご飯編み地Aを編みます。編み終わったら、具に使用する並太毛糸(明るい茶、黄色、黄緑、緑、赤)をアップリケパンチャーでパンチングします。アップリケパンチャーが無い方は、ストレート刺しゅうで仕上げます。(図1)

2 ご飯編み地Bを編みます。編み終わったら、①と同じように、具をパンチングまたは刺しゅうをします。編み地Aと編み地Bの間に、サイズを合わせてカットしたスポンジ(または手芸綿)を入れながら、半目の巻きかがりとして、ご飯を仕上げます。

ご飯編み地A

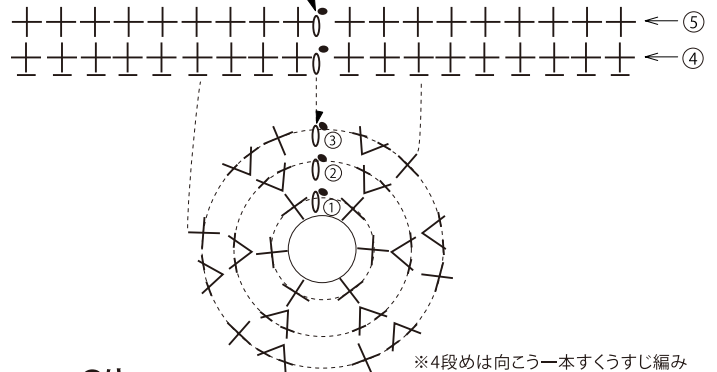
8/0号針

図1



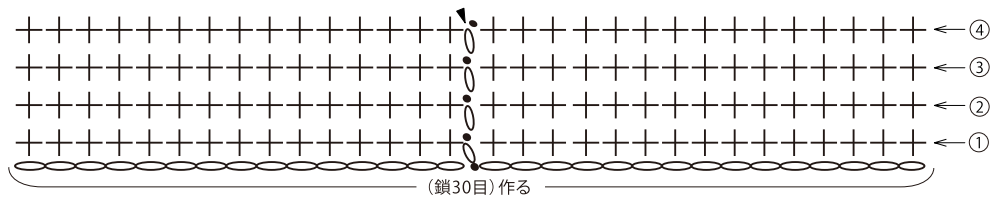
▶ = 糸を切る

ご飯編み地B 8/0号針



のり

7/0号針



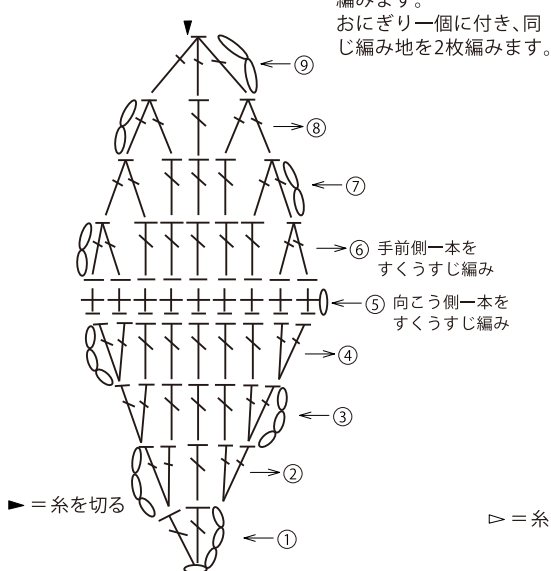
3 並太程度の毛糸(黒)で、のりを編みます。編み図を参照し鎖30目を輪にして4段編みます。編み終わったら、ご飯にかぶせ目立たないように縫い止め固定して完成です。

おにぎり

材料 極太毛糸(白)を1個につき25g程度、中細毛糸(赤) 3g程度。
 手芸綿適量、アップリケパンチャー、マット、羊毛(赤、オレンジ)。
 フェルト黒、マジックテープ、オレンジ色のビーズ12~14個。
 用具 かぎ針8/0号・2/0号。

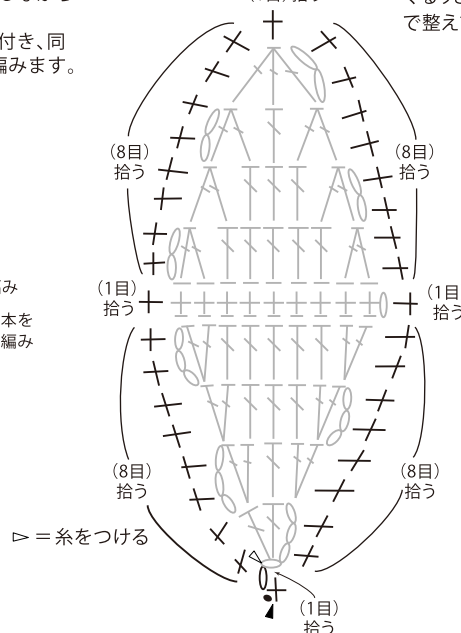
おにぎり本体

8/0号針



縁編み 8/0号針

(1目)拾う

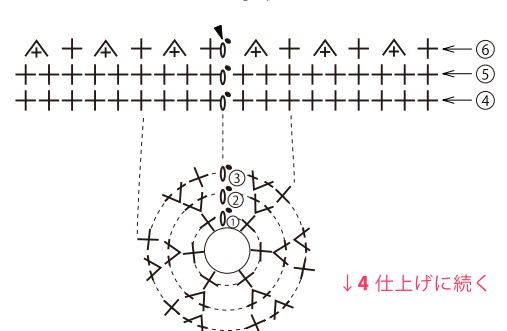


2 本体編み地の周辺をぐるりと細編み36目で整えます。

3 中細毛糸(赤)で梅干しを図を参照して編みます。6段まで編めたら手芸綿を入れ、最終段の細編みの頭の鎖を巻きかがり糸を引き締めて縮めます。

梅干し

2/0号針

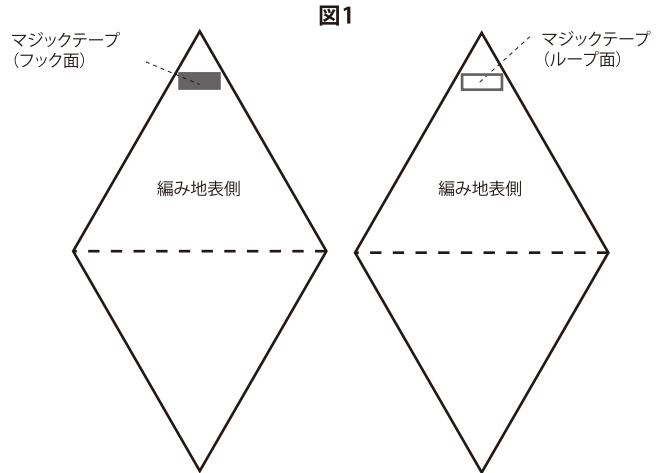




4 仕上げ

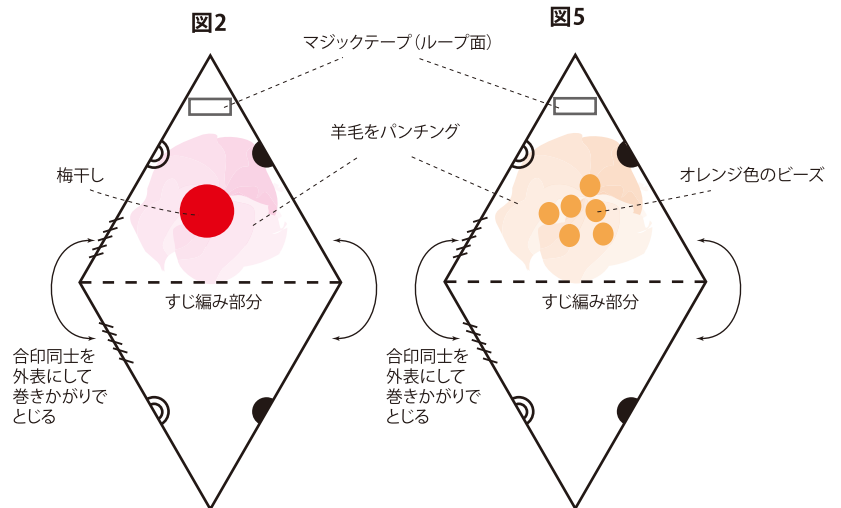
[梅おにぎり]

1. 2枚の編み地にマジックテープを小さくカットしたものを縫いつけます。(図1)
2. 編み地の表側に赤の羊毛でパンチングし、一枚の編み地にはその上から梅干しを縫いつけます。(図2)
3. 具がついたら、すじ編み部分で外表にして折り、三角形にして周囲を巻きかがりできとじます。
4. 3で出来上がった三角形の編み地を二つペアにして、底を巻きかがりできとじます。(図3)
5. フェルト(黒)を、おにぎりに合うのりの大きさにカットして、2枚に裂いて薄くします。黒の縫い糸で目立たないように縫いつけて完成です。(図4)

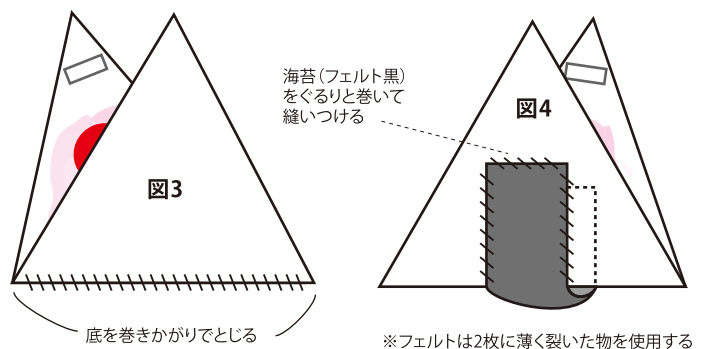


[すじこおにぎり]

1. 2枚の編み地にマジックテープを小さくカットしたものを縫いつけます。(図1)
2. 編み地の表側にオレンジの羊毛でパンチングし、その上からオレンジ色のビーズを縫いつけます。(図5)
3. 具がついたら、すじ編み部分で外表にして折り、三角形にして周囲を巻きかがりできとじます。
4. 3で出来上がった三角形の編み地を二つペアにして、底を巻きかがりできとじます。(図3)
5. フェルト(黒)を、おにぎりに合うのりの大きさにカットして、2枚に裂いて薄くします。黒の縫い糸で目立たないように縫いつけて完成です。(図4)



※アップリケパンチャー、パンチャー用マットを使用する



※フェルトは2枚に薄く裂いた物を使用する